

特別授業・気象予報士講座 の報告

仮説

気象予報士講座を開設し、気象予報士試験合格および気象分野の課題研究を設定しそれに取り組み始める時期において、

「テレビ（朝日放送）の現場で活躍中の現役のお天気キャスターから直接講演を頂き、気象予報士としてのやり甲斐や苦労談など、実際の経験に基づいた情報提供を受けることは、今後気象分野の課題研究等を深めていこうとする高校生、とりわけ1年生の生徒にとってたいへん有意義なものである。」

という仮説に基づいて、以下の講演会を企画した。

SSH気象予報士講座 現役お天気キャスターによる講演会

1. 講演日時 平成19年6月26日 16:00～18:00

講演場所 本校第1LAN教室

2. 講師 株式会社ウェザーニューズ 気象予報士 吉田 裕一 先生

演 題 「気象予報士とは」

3. 対象 気象予報士講座登録生徒 1年総合科学科9名 2年1名 3年2名

4. 内 容

気象予報士の仕事内容について、土曜日朝6:30放送開始の「おはよう朝日です 土曜日」を例にして、あわただしい放送現場の裏側の様子や気象予報士としての予報原稿作成から放送に至るまでの注意点や苦労談をお話頂いた。また、一般の人々に気象情報を提供する立場として心がけておかなければならない点についても、過去の失敗談も交えてお話頂いた。後半は、具体的な予報作成の方法として、各種の天気図の入手方法や利用方法の紹介と、気象予報士試験の内容と受験対策等について説明を頂いた。

5. 生徒アンケート結果

1. 取り扱った内容は、分かりやすかったですか。

非常に思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない
33.3%	66.7%	0.0%	0.0%

2. 今回の企画は、面白かったですか

非常に思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない
58.3%	33.3%	8.3%	0.9%

3. 科学技術や理科・数学に対する興味・関心が増加しましたか。

非常に思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない
33.3%	66.7%	0.0%	0.0%

4. 自分自身この企画にしっかり取り組みましたか。

非常に思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない
33.3%	58.3%	8.3%	0.0%

6. 生徒の感想

- ・ 気象予報士の仕事は、僕が思っていたものよりだいぶハードなものだと分かりました。僕も予報が外れるとむかつくと思いますが、あたって何も思いませんでした。やはり、あたって当然と思っていたからです。けれどこれからは、あたらたら今日も頑張っているんだなと思うようにしたいです。ちょっとした裏話的なものも聞けて、よかったです。
- ・ 気象は、分かるようになれば面白いだろうなという感覚で、気象予報士のことはあまり考えていなかったけれど、なれたらとても面白そうだと思います。質問ですが、昔は天気予報をどのようにして調べていたのですか。それから、よく1時間に100ミ以上の強い雨が降ると天気予報で言っていますが、どうしてもそんなにすごい量に思えないというか、想像できないのでよく分からないのです。よければまた教えてください。
- ・ 気象予報は、簡単な仕事ではなく、真面目に取り組んでも絶対に100%はない。そんな大変なことでも、一生懸命することは、素晴らしいことだと思います。生半可な努力では絶対に資格は取れないと思いますが、がんばって資格を取得したいと思います。
- ・ 「おはよう朝日です」を毎朝見ている、気象予報士になりたいと思うようになりましただけです。まだまだ分からないことだらけですが、少しでも予報の実況に触れることができ、本当に良かったです。大学生になったら、アルバイトで働きに行き、そこでいろいろ勉強して、気象予報士になろうという具体的な目標もできて、嬉しいです。夏休みに本当に放送局に生かしていただけるなら、絶対に行き、そこで見るものを全部吸収できるように頑張りたいです。
- ・ 天気予報は毎朝見ているのですが、実際の細かいところまではまったく知らなかった



は毎朝見ているので、おお！あの時間の中にこんなだけの事をしてはるんやなあと、すごく分かりやすく、身近で、驚くことも多々ありました。まだまだ天気の話は詳しくないですが、これから勉強して、資格を取りたいです。

7. 仮説の検証

生徒のアンケート結果や感想文より、この講演会を通して、気象に関する生徒の興味・関心を喚起し、今後の気象予報士試験受験と課題研究に繋がりたいという、当初の目的は達成されたと考えられる。